

2024/8/31,9/1

令和6年度愛知県高等学校新人体育大会陸上競技大会東三河予選会
兼 東三河高等学校対校新人陸上競技大会

注 意 事 項

1 受付について

- (1) 競技場入場時間は各日 7:00 とする。
- (2) 各校引率教員は、競技開始 30 分前までに受付をすること。(教員の受付がないとき、選手は競技に出場できない)。また、受付は各日毎に行わなければならない。

2 競技規則および申し合せ事項について

- (1) 本大会は、2024 年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会競技注意事項に基づいて行う。
- (2) 本大会のスタート動作における競技規則については、国内適用で競技を行う。

3 招集について

- (1) 招集所は 100m ゴール後方に設ける。
- (2) 招集時間は次の通り。

トラック競技	競技開始時刻の40分前から始め、20分前に完了
フィールド競技(棒高跳を除く)	競技開始時刻の50分前から始め、30分前に完了
棒高跳	競技開始時刻の90分前から始め、60分前に完了

- (3) 招集時間に遅れた者は棄権とみなし、出場を認めない。

4 リレー競技のオーダー用紙提出について

	男子	女子
4×100mR 予選	9:15まで	9:00まで
4×100mR 決勝	14:50まで	14:45まで
4×400mR 予選	12:30まで	12:15まで
4×400mR 決勝	15:30まで	15:20まで

- (1) 上記時刻までに記録室へ提出すること。
- (2) 提出時間に遅れたチームは、棄権とみなし出場を認めない。

5 アスリートビブス(ゼッケン)について

- (1) トラック競技・投擲競技については胸背部に確実につけること。跳躍競技については、背または胸につけるだけでもよい。

6 腰ナンバーカードについて

- (1) 腰ナンバーカードは主催者で用意する。
- (2) トラック競技は右腰やや後方に数字がよく確認できるように付けること。競技終了後は速やかに返却すること。

7 使用器具について

- (1) 原則として競技場備え付けのものを使用する。ただし、「ポール」と「投擲器具」、「リレー競技のマーク」については各校から持参したものを使用してもよい。ただし、投擲器具については大会本部にて検定を受けること。なお、検定については次のとおりにする。

検定時間	8:10～8:25
検査場所	南側器具庫前

8 競技について

競技用靴について



三段跳/棒高跳用シューズについて



- (1) 天候型トラックなので、トラック・フィールドともにスパイクのピンの長さは7mm以下のものを使用すること。ただし、走高跳・やり投は12mm以下のものを使用すること。トラック競技において、ゴール後は正面スタンド裏を通行し各校ベンチに帰ること。その際、正面スタンド裏をスパイクで通行することは禁止する。
- (2) **選手及び学校関係者はスマートフォン、ビデオ等の情報通信機器類を招集所・競技場所に持ち込むことはできない。** 撮影については15項を参照のこと。
- (3) 競技中のケガ等については応急処置を行うが、その後は各学校で対処すること。
- (4) トラック競技のレーン順およびフィールド競技の試技順については、すべてプログラム記載どおりに行う。
- (5) 長距離競技の給水は主催者が用意する。給水係は参加校で各1名程協力してください。
- (6) フィールド競技は、すべて計測する。
- (7) 棒高跳については、天候不良の(予想される)場合、競技日時を変更することもある。
- (8) 走幅跳については2ピットで行う。三段跳の踏切板は男子10m、女子8mとする。高さの競技におけるバーの上げ方は枠内の通りとする。

<バーの上げ方>

- (男子) 走高跳 練習(1m40 1m70)
1m45、1m50、1m55、1m60、1m65、1m70、
1m75、1m80、1m85、1m90、1m93・・・
(以降3cmずつ)
- 棒高跳 練習(2m50 3m40 4m00)
2m60、2m80、3m00、3m20、3m40、
3m60、3m70 (以降10cmずつ)
- (女子) 走高跳 練習(1m20 1m45)
1m25、1m30、1m35、1m40、1m45、
1m50、1m55、1m58..... (以降3cmずつ)
- 棒高跳 練習(1m90 3m00)
2m00、2m20、2m40、2m60、2m70・・・
(以降10cmずつ)

9 競技の番組編成について

- (1) トラック競技の準決勝・決勝進出者の発表はアナウンスおよび記録速報(東三河陸上競技協会HP)で行う。
- (2) タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定について、同記録がありレーン数が不足するときの処置は、写真判定主任が同記録者の写真を拡大し、より細かくタイムを判定して出場者を決定する。それでも決定できないときは、抽選とする。その他の同記録の場合も同様とする。
- (3) トラック競技において欠場等により出場選手が8名以下となったときは、予選を行わず、決勝の競技時刻に競技を行う。

10 各競技の得点について

- (1) 1位6点、2位5点・・・6位1点とする。

11 表彰および県大会への出場権について

- (1) 男女総合は6位まで表彰する。
- (2) 男女トラックの部、フィールドの部は3位まで表彰する。
- (3) 各競技3位までの入賞者は賞状を授与する。
- (4) 賞状の授与は顧問にまとめて行う。
- (5) 各競技6位までに入賞した者及び県大会シード選手は、大会開催中に各校引率教員を通じ、県大会出場の手続きを本部で行うこと。ただし、走高跳・棒高跳は6位6名以内とする。シード選手が入賞した場合は7位以下の選手が出場権を得る場合があるので注意すること。また、トラック競技の県大会出場9番目の競技者は、1つ前のラウンドにおいて県大会出場決定者を除く中で1番記録の良い
- (6) 者とする。
- (7) 県大会への出場権を獲得した選手がそれを辞退する場合、出場権は7位以下の者に順次繰り下がる。
- (8) 男女ハンマー投、男女5000mWにおいて、下記の記録をクリアしていない選手は、県大会への出場権を得ることができない。なお、競歩については下記の時間で競技を打ち切る。
- (9) 男女ハンマー投で県大会出場標準記録を突破するための追加の3回の試技を行うことができる。

男子	ハンマー投	33m以上
男子	5000mW	28分以内（打切時間 31分）
女子	ハンマー投	23m以上
女子	5000mW	33分以内（打切時間 38分）

12 ゴミについて

- (1) 出したゴミについては、各自が責任を持って自宅へ持ち帰ること。

13 競技場でのウォーミングアップについて

- (1) 大会準備に支障のない範囲で可とする。ただし、競技開始前は競技会開始時刻の20分前までとし、一旦トラックから出ること。
- (2) 100m、200m、100mH、110mHの競技実施中は、バックストレートでのウォーミングアップを認める。
- (3) 400m、800m、リレーの競技実施中は、選手紹介のアナウンスが入ってから最終ランナーがゴールするまではトラック内でのウォーミングアップを禁止する。競技の合間にバックストレートでのウォーミングアップを認める。
- (4) 1500m、3000m、5000m、5000mW、300mSCの競技実施中は、バックストレートの外側のレーンを利用したウォーミングアップを認める。ただし、バックストレートを競技者が通過中は認めない。
- (5) 棒高跳の競技を行っていないときに限り、棒高跳のピット内でのウォーミングアップ

を認める。

- (6) 本競技会に参加していない生徒の競技場内での練習は一切認めない。
- (7) 競技場周辺での練習については、公園利用者等に迷惑になるような行動は慎むこと。
- (8) 雨天走路について。

【晴天時】 備え付けのスターティングブロックを使用したスタート練習のみに使用する。(競技時間内のみの使用とする。)

【雨天時】 主催者の指示に従って安全に使用する。



14 応援・各校のベンチについて

- (1) 競技スペースや立ち入り禁止区域に入らないこと。また、正面スタンドは各校の控え席とし、選手・生徒・学校関係者・競技役員以外の立ち入りを禁止する。
- (2) 保護者等の一般観戦者は土手面での応援にご協力ください。
- (3) 選手・生徒・学校関係者の応援は正面スタンド及び土手面で行い、競技ペースや立ち入り禁止区域に入らないこと。
- (4) メガホンなどを使用した集団応援は禁止する。
- (5) 競技の進行に支障のある応援を禁止する。特にスタート時は注意すること。
- (6) 正面スタンド最前列に立っての応援を禁止する。

15 写真・ビデオ撮影について

- (1) 生徒の人権保護・肖像権保護のため、競技会における写真・ビデオ撮影について、ご理解とご協力をお願いします。各校に関係する団体等が撮影を希望する場合は、必ず本部で許可を得てください。その際、撮影者は撮影者用ビブスを着用してもらいます。

<観客席からの撮影制限>

- 1 観客席での撮影を禁止させていただくエリアは下記の席です。
 - ◆各種目のスタート後方
 - ◆走高跳、走幅跳・三段跳・棒高跳の助走後方・着地前方
 - ◆走高跳マットに向かった正面 (クリアランス動作中)
- 2 保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。
- 3 選手がスターティングブロックの足あわせをしたり、試技を待っていたりする間や、体を動かしているなどの準備の行動は撮影を禁止します。
- 4 他者に著しく迷惑をかける行為と主催者で判断した場合は、速やかに警察および関係機関に連絡をとります。